

受益者の皆様へ

三井住友アセットマネジメント株式会社

弊社ファンド11月20日基準価額の下落について
(基準価額の変動要因についてのお知らせ)

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成 20 年 11 月 20 日、一部弊社ファンドの基準価額が前日比 5%以上下落しました。以下に、ファンド状況と基準価額の下落要因のご報告をいたします。

基準価額前日比 5%以上下落ファンド名とその状況 (平成 20 年 11 月 20 日現在)

ファンド名	基準価額 (円)	前日比 (円)	下落率 (%)
三井住友・ス・パ・アクティブ・オ・プン	1,667	-147	-8.10%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006-3	3,808	-327	-7.91%
条件付元本確保型収益分配ファンド2006-9	4,436	-366	-7.62%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006-1-65	4,036	-332	-7.60%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'07-08	4,138	-340	-7.59%
三井住友・株価指数参照ファンド'06-09	4,518	-358	-7.34%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'06-12	4,454	-338	-7.05%
三井住友・株価指数参照ファンド'07-08	4,524	-341	-7.01%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'07-02	4,381	-329	-6.99%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-7-65	4,069	-304	-6.95%
インカム追求型株式投信0706	4,434	-330	-6.93%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006-11-100	4,638	-344	-6.90%
インカム追求型株式投信0709	4,870	-359	-6.87%
インカム追求型株式投信0707	4,520	-333	-6.86%
インカム追求型株式投信0705	4,540	-332	-6.81%
三井住友・株価参照型ファンド2008-8	6,264	-457	-6.80%
三井住友・株価指数参照ファンド2008-05	5,595	-408	-6.80%
三井住友・株価参照型ファンド2008-5	6,233	-450	-6.73%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-7-55	4,054	-291	-6.70%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-4-春のひだまり	4,116	-293	-6.65%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-10-105	4,637	-328	-6.61%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-4-春のおとずれ	4,084	-288	-6.59%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006-12	4,252	-299	-6.57%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006-7-110	4,555	-320	-6.56%
条件付元本確保型収益分配ファンド2007-6	4,013	-280	-6.52%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'06-09	4,479	-311	-6.49%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006-11-115/110	4,461	-307	-6.44%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006-11-105	4,514	-310	-6.43%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'07-10	4,645	-317	-6.39%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-10-100	4,917	-331	-6.31%

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。(社)投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、目論見書の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。

ファンド名	基準価額(円)	前日比(円)	下落率(%)
三井住友・インカム確保型株価参照ファンド07-06	4,610	-306	-6.22%
三井住友・株価参照ファンド2007-12	5,483	-363	-6.21%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'07-06	4,168	-273	-6.15%
三井住友・株価指数参照ファンド2008-08	6,465	-418	-6.07%
三井住友・バリュー株式年金ファンド	6,105	-394	-6.06%
三井住友・株価参照ファンド2008-03	6,494	-417	-6.03%
システムリバランスオープン	4,223	-267	-5.95%
メイプルジャパンオープン	2,780	-175	-5.92%
ワールドテクノロジー・ファンド	2,098	-132	-5.92%
条件付元本確保型収益分配F(ステップアップ型)2007-2	4,528	-282	-5.86%
三井住友・株価指数参照ファンド2008-03	6,498	-400	-5.80%
三井住友・DC国内株式アクティブS	6,649	-409	-5.79%
三井住友・日本株式年金ファンド	4,199	-254	-5.70%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-10-110	5,140	-306	-5.62%
コスモ「新時代」日本株ファンド	4,227	-244	-5.46%
三井住友・グローバル株式年金ファンドBコース為替ヘッジなし	4,963	-285	-5.43%
三井住友・DC外国株式アクティブ	6,977	-399	-5.41%
条件付元本確保型ステップアップ収益分配ファンド2007-6	4,871	-278	-5.40%
三井住友・株価指数参照ファンド2008-09	6,695	-374	-5.29%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-4-三色すみれ	5,129	-283	-5.23%
条件付元本確保型ステップアップ収益分配ファンド2007-3	5,249	-288	-5.20%
三井住友・アクティブ・オープン	2,783	-152	-5.18%
リサーチ&トレンド・オープン	3,161	-172	-5.16%
三井住友・フォーカス・ジャパン・オープン	4,578	-249	-5.16%
21世紀ファンド	3,572	-188	-5.00%

私募ファンド、マザーファンド、ブル・ベア型ファンド、指数連動型ファンド、一定のレバレッジ効果追求型ファンドにつきましては開示対象外としています。

11月20日の基準価額は、外国の株式・債券・リート等に投資するファンドの場合、11月19日時点の株式等組入れ資産の各市場での終値を、11月20日の為替レート(日本時間午前10時頃の為替レート(TTM))で円換算し算出しております。

(1) 基準価額の変動要因について

(国内株式市場)

昨日の米国株式市場は、過去最低水準となった10月米国住宅着工件数や過去最高の低下率となった米国消費者物価指数などの経済指標の発表を受け、米国景気後退の長期化やデフレへの懸念が台頭しました。加えて経営危機にある米自動車大手3社に対する公的支援を巡る不透明感も嫌気され、NYダウ平均株価は8,000ドル割れとなり5年8ヶ月ぶりの安値をつける大幅下落となりました。

上記のような流れを背景に、東京株式市場も円相場の上昇(1ドル=95円台)や国内企業業績の悪化を警戒する動きとなり大きく下落する展開となりました。

日経平均株価は終値7,703.04円で前日比570.18円(下落率6.89%)、TOPIXは終値782.28ポイントで同45.15ポイント(同5.46%)となりました。

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。(社)投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、目論見書の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。

わが国の主な株価指数の動き(平成20年11月20日現在)

	終値(円・ポイント)	前日比(円・ポイント)	下落率(%)
日経平均株価	7,703.04	-570.18	-6.89
東証株価指数	782.28	-45.15	-5.46
東証規模別株価指数(大型)	775.19	-50.61	-6.13
東証規模別株価指数(中型)	852.21	-43.08	-4.81
東証規模別株価指数(小型)	1,202.21	-40.33	-3.25
東証2部株価指数	1,911.30	-32.79	-1.69
JASDAQ インデックス	44.66	-0.72	-1.59
日経 JASDAQ 平均株価	1,070.79	-13.02	-1.20
東証マザーズ指数	295.78	-15.12	-4.86

(海外株式市場)

11月19日(水)の世界の主要株式市場は前日比で下落し、なかでも欧米の主要市場が大幅な下落となりました。

米国でその日発表された10月の消費者物価指数や同月分の住宅着工件数などが景気の悪化懸念を高める内容だったことに加え、GMなど3大自動車メーカーに対する救済案が不透明さを増していること、また前回のFOMC議事録で再利下げが議論されたことが明らかになるなど、景気の悪化懸念を誘う材料が改めて注目されました。さらに、金融大手のシティグループが、1兆7000億円規模の関連会社資産を買い取ると発表し、その資産内容がこれまでオフバランスとしていた住宅ローン担保証券などとみられることから、金融関連の損失拡大懸念が再度高まったことも株価の下落要因となりました。この日シティグループの株価は20%を越す下落となりました。S&P500指数を10業種分類でみると、すべての業種が下落するなか、金融が約12%の下落となったほか、素材、資本財、一般消費財など比較的景気に敏感な業種に関する指数の下落幅が大きくなりました。米国市場に先立って取引が開始されていた、アジアや環太平洋市場、欧州の株式市場も一部の市場を除き全般に下落しました。

為替市場においては、米国の10月の消費者物価が予想以上の下落となったことで米国のデフレリスクが高まり、米ドルが円に対して下落したほか、世界的な景気の先行き不透明感の高まりから、リスク回避的な行動が強まり、欧州、環太平洋の主要通貨も円に対して下落しました。

以上の市場環境の下、主要株式市場の大幅な下落と円高の進展が基準価額下落の要因となりました。

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。(社)投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、目論見書の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。

各国・地域の株式・為替市場動向

(株式)

国・地域	株式指数	終値 (2008年11月19日)	騰落率 (2008年11月18日比)	騰落率 (2007年12月28日比)
アメリカ	S & P500指数	806.58	-6.1%	-45.4%
ドイツ	ドイツDAX指数	4,354.09	-4.9%	-46.0%
イギリス	FT100指数	4,005.68	-4.8%	-38.2%

(出所)Bloombergなどのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(為替) *数値は対円レートを示しております

通貨	TTM (2008年11月20日)	騰落率 (2008年11月19日比)	騰落率 (2007年12月28日比)
アメリカドル	95.82	-0.8%	-16.1%
カナダドル	76.4	-2.7%	-34.3%
ユーロ	119.85	-1.7%	-28.1%
イギリス ポンド	143.71	-0.4%	-36.9%
オーストラリアドル	61.32	-1.3%	-38.8%

(出所)社団法人投資信託協会のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(2) 今後の見通し

(国内株式市場)

日米欧など世界各国において協調利下げや金融機関への公的資金注入等の金融安定化策が発動されました。加えて、日米欧や中国などで過去最大規模の景気刺激策も発動されております。しかしながら、金融安定化策や景気刺激策の実効性に対する懐疑的な見方も強く、また、世界的に一段と景気悪化が強まり、企業業績も減速の度合いを強めてきております。需給環境も、リスク資産圧縮による売り圧力は依然強く、株式市場は短期的には値動きの荒い不安定な展開を余儀なくされるものと思われます。

当面は、各国が緊急首脳会合(金融サミット)で合意した実効性のある追加金融安定化策や追加景気刺激策を打ち出せるかどうか、そして実体経済と企業業績がどの程度悪化に向かい、株式市場はそれを何時どの水準で消化するのが重要と考えます。

来年前半までは欧米各国が景気後退局面にあることや、新興国の需要減速が続くことにより、国内経済も軟調に推移することを見通します。企業業績も総じて下方修正基調にあることから、株式市場は当面下振れリスクを伴いながら不安定な展開が想定されます。来年後半には、米国住宅価格の下げ止まりや、金融機関の融資厳格化による経済活動を抑制する力も緩和に向かい、世界的に景気は底打ちから緩やかながらも回復に転じる見通しです。株式市場は景気に先行する傾向があるため、来年前半には徐々に下値を切り上げる可能性が高いと見ています。

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。(社)投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、目論見書の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。

(海外株式市場)

当面の世界の主要株式市場は、上値の重い展開を予想します。欧米の市場全体のPERは2009年の市場予想の収益ベースで1ケタ台に下落しており、歴史的に見て割安な水準にあるとの見方もありますが、実体経済の悪化を受けた企業業績予想の更なる引き下げ懸念もくすぶっており、株価下ぶれのリスクは残存しています。一方で、主要国の金融危機対策の発動などから、ロンドン銀行間取引金利が4年ぶりの水準に低下するなど、金融システムに安定化の兆しが見えており、金融不安が再燃して株価が底割れする可能性は小さくなってきました。

為替市場については、日本も景気が悪化しているとはいえ、相对比较では日本より米国、米国より欧州の景況感が悪化していると見られており、政策金利の引き下げ余地も同様に日本より米国、米国より欧州に多く残存していることから、円に対する米ドル、米ドルに対する欧州通貨の上値の重い展開を予想します。

以上